

## 「じゃがいものうち」通信 NO.77. 2015.8.4

～障害者と共に生きる仲間たち～ NPO法人「じゃがいものうち」

QRコード



〒891-4404 鹿児島県熊毛郡屋久島町尾之間136-6

Tel. Fax/0997-47-3588 E-mail/npo-jaga@po.minc.ne.jp

URL:<http://www.minc.ne.jp/~npo-jaga> 代表 楯篤雄

ブログ : <http://blog.canpan.info/jagaimo/>



### 帰る家の大切さ

口永良部島新岳噴火から、はや2ヶ月が経ちました。全島民避難という苦渋の決断。慣れない土地での、また先の見えない避難生活を余儀なくされたこと、島民の皆様には心よりお見舞い申し上げます。

住み慣れた家や生活から、自らの意志とは異なる理由で離れなければならないという出来事については、屋久島で暮らす障がいをもつ方々にも重なるものがあります。生まれてまもなく、またある日突然の事故や病気などで心や身体に障がいを持ってしまい、よりよい医療、福祉、教育を求めると、どうしても島外の社会資源に頼ることになり、家族と離れ、もしくは家族ごと島を離れることとなります。島を愛しながら島を離れなければならない悲しい涙を、どれだけ多くの方々が流してきたのでしょうか。

今も変わらない現状からの脱却にはどうすればよいのかと屋久島町自立支援協議会で協議してきました。北部地区の愛心会さんでは、平成28年度に就労B型と生活介護を合わせた多機能型の日中支援サービスとグループホームの設立が計画されています。南部においては、今年度「屋久島町手をつなぐ育成会」の自主事業による体験グループホーム実施に向けての準備が進行中で、出来れば28年度には「じゃがいものうち」が育成会から引き継ぎ、正式運営を開始したいと考えています。今ようやく宿泊型受け皿が出来ようとしています。まずは島を離れないで居られる場（働く、生活する、そして帰ることの出来る家）を作り、障がいがあっても安心して心豊かに暮らせる為の、様々な支援が充実して行くことに繋がっていけばと思います。 (楯)

## みんなのおうちコーナー

「みんなのおうち」には、また新しい仲間が増えました。

名前は山崎晃義（やまさき あきよし）さんです。今年の6月に神奈川県から屋久島に戻ってきたそうで、ご両親と一緒に中間で暮らしています。普段は家でテレビを見たり（野球観戦）、テレビゲームをしたり（野球ゲーム）、徳洲会新聞の配達をしています。

「みんなのおうち」では、火曜日と金曜日に生活訓練サービスでの利用をしています。香那さん、ゆきえさん、愛子さん、めい子さん、スタッフの一戸さんと楽しく、真面目にシール貼りなどを行っています。晃義さん本人も、家にいるより外で仕事をするほうが好きなようで、毎日でも通いたいと嬉しそうに話しています。

それからもう一人、星野京（ほしの きょう）さんも7月から利用を始めています。お昼前から食後までの約3時間と短い時間ですが、星野さんが先生役の「棒体操」で汗を流したり、スタッフにいろんな昔話を話してくれたり、「みんなのおうち」の空気を和ませてくれています。利用のスタイルの全く違うお二人ですが、今後の活躍を期待しています。

（安藤 亮）



↑棒体操をする星野京さん

☆「みんなのおうち」では、現在3台の軽自動車で栗生から宮之浦まで、利用者さんの送迎を行っています。しかし来年1月にそのうちの一台が廃車になり代替えを準備しなければなりません。現在様々な企業や財団の車両申請を行っているところですが、申請が通らないときのことを考えて、軽自動車を今探しているところです。手放すような車両がありましたら是非教えて下さい。

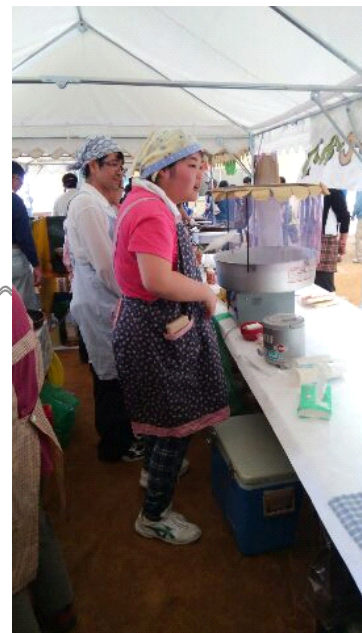
それともう一つ「みんなのおうち」では、障がいを持つ方達と高齢者による音楽活動に取り組んでいますが、使用している楽器は借り物や私物で代用しています。家の中に埋もれている、使う予定のない楽器がありましたら提供して頂ければありがたいです。ギター、打楽器、リコーダー、等々。よろしく願い致します。



# 2015年度行事報告

## ☆ふるさと産業祭り

4月26日(日)尾之間の町民すこやかふれあいセンターにて「名物ジャガコロ」をメインに今年も出店致しました。参加者は26名、出店売上は67,580円でした。皆さんありがとうございました。



### ◇産業祭を終えて

「そのじゃがいも、ちいさすぎるよー！」産業祭前日。じゃがころ用じゃがいもを切り分ける準備がじゃがいものおうち会員と、多数のボランティアで楽しく賑やかに行われました。綿あめ、たんかんジュース、ゆきえさんの手作り小物や小笠原さん作の仏像等も大変好評でした。

今年はテントの設置場所が変わりテント一張りの狭いスペースでの販売でしたが、怪我もなく無事終了することができました。反省としては、「ジャガコロ用

に火力の強いコンロや少し大きな揚げ鍋があればな〜」とか、「準備を確実にするために祭り用道具の一覧表があれば……」「テント内の場所を有効に使うために長机があれば……」など多数の意見もいただきましたので、少しずつ反省をいかしていければと思います。

(脇田由紀)



## ☆交流バス遠足

今年も精神障害者家族会・屋久島町手をつなぐ育成会・じゃがいものおうち(みんなのおうち)の交流バス遠足を開催しました。障害の種別は違うけれど、同じ悩みや課題を持つ仲間として、レクレーションを通し交流を深め、互いの思いを共有することが出来ました。

参加者31名。屋久島町からマイクロバスの提供がありました(運転手付き)。ありがとうございました。

### ◇遠足の報告

日頃は音楽活動でお手伝いさせていただいている鈴木と言います。6月5日(金)みんなのおうち(10名)しゃくなげ未来館(8名)手をつなぐ育成会(6名)じゃがいものおうち(6名)の交流バス遠足に私も参加させていただきました。

まず武田産業さんで屋久杉工芸品の作業の様子を見学させていただいたり、目ん玉の飛び出してしまう程のお値段のついた屋久杉の家具等を拝まさせていただきました。安房公民館では佐藤かしこ先生のご指導で色々なコミュニケーションゲームに挑戦し、身体も口も動かして、皆さんとの距離もグッと縮まりました。

ランチはふるさと市場さんでいただき、その後久本寺さんで「寝る、食べる、排泄のバランスの大切さ」と「日々足もとにある幸せの気づき」についての講話を賜りました。移動中のバスの中でもクイズやカラオケを楽しみ、この日はあいにくの大雨だったのですが、盛り沢山の遠足メニューで楽しい思い出と心地よい疲れを参加者のみなさんと共有することができました。またの機会を楽しみにしています。

(鈴木裕子)



## ◇雨でよかった

楽しみにしていたバスツアー。三つの団体の交流ということで実施したが、当日は大雨。びしゃびしゃにぬれながらも楽しい有意義な交流が出来たと思う。大雨のため野外のレクや自己紹介などが安房公民館となった。これがかえってよかったと思う。一人一人の自己紹介、通りいっぺんでなく大垣さんの名進行でいろんな思いをのべる人も多くいて、あーそうだったの！大変だったけど、頑張っってね!etc 30数名の人が夫々の語りで自己紹介。その後いくつかのゲームも、みんなが参加してワイワイやる事が出来た。久本寺の和尚さんのお話も、日々ある“当たり前”に感謝のお話で、何気ない生活も失ってみてはじめてわかる有難さについて、わかりやすく話して頂きました。大雨の中、快くお迎え下さってありがとうございました。(四宮英代)



※後日、久本寺の住職さんから丁寧なお手紙と人数分の大判集合写真を頂きました。ありがとうございました。

## 口永良部島の皆様との「憩いの豆腐作り」ワークショップ

口永良部島の方々が避難して来てから、同じ町民として何かしなくてはと思って来ましたが、どんどん変化する状況の中で何をしたらいいのかわからないまま、今に到ってしまいました。早い段階で公営住宅等へ移ったり、そろそろ仮設住宅も出来てくるという状況の中で、必要なことは何だろうと考えた時、バラバラに住むことになった方々の交流の場、憩いの場、を設けたらいいのではないか、と思い至りました。そしていろいろ考えた結果、「じゃがいものおうち」が障害者就労支援の作業の一つとして準備している「豆腐作り」を体験してもらい（「豆腐作り体験」をしない方はバスで大川や、千尋の滝巡りバスツアーもあります）、昼食を食べつつ、余興を楽しんだり交流したりして頂いた後、温泉でゆっくり疲れを癒して帰る、という計画に落ち着きました。会員の皆様のお手伝いを、よろしくお願い致します。口永良部島の方々と一緒に楽しい一時を過ごしましょう。

**開催日時** 平成27年9月6日(日) 9:00~15:00

**場所** ぼんたん館

※参加して下さる方は、「じゃがいものおうち」0997-47-3588または090-7440-5388 「楯」までご一報下さい。

※滝巡りツアーのバスガイドさん募集！！

## ◇三人寄れば何とやら・計画決定までのスッタモンダ

これまで2回の打ち合わせと、プレイベントを1回行いました。

一回目の打ち合わせは参加者7名。おおまかな計画案を皆で検討。昼食に豆腐以外何を作るとか、いつ頃行くとか、豆腐作りに参加できない人はどうするか、喧々囂々。その結果実施日の案とメニュー、滝巡りツアーと豆腐作りの二本立て、企画書を作って関係諸機関へお願いに行くこと、そして事前に一回主催する側で豆腐作りをやってみる(プレイベント)ことが決まりました。

二回目はプレイベントの後、参加者6名で行われました。そこで計画案がほぼ固まり、口永良部島の区長さんに話しに行くことに決まりました。一人ではとても思いつかないことがたくさんあり、みんなで力を合わせるということの大切さを改めて感じさせられた打ち合わせ会でした。

## ☆イベント

7月12日（日）9時からぽんたん館で「じゃがいものうち」の人達を中心に約10人で豆腐作りに挑みました。



先ず電動の機械で豆を挽いて水っぽいペースト状の呉（豆腐を搗ったもの）にします。この呉を大きな釜に入れて煮出します。沸騰しすぎると、一気に泡が吹きこぼれてしまうのでそのぎりぎりの所を見極めて火加減を調整します。間に合わなければ最後の手段で米糠、若しくは

水を釜の中に入れ落ち着かせます。ただ、余り入れると味が変わってくるので、ここが腕の見せ所らしいです。炊き上がったら、次は布の袋に入れこの熱い呉を絞ります。

釜で炊き上げるところから熱さとの戦いです。気を抜いているとやけどをします。絞った後に袋に残るのがオフホワイトの細かい「おから」で、絞って出て来た汁が「豆乳」ということになります。確かに豆乳の匂いが漂い「豆腐屋だ」と言う雰囲気になってきます。

その豆乳に苦汁を入れ固めます。この時点ではまだお皿に出したヨーグルトの様です。このやわらかい豆腐を、四角い枠に入れ上から重いものを乗せ水気を抜いて固めます。するとそれはきれいなプリンとした大きな豆腐が出来上がります。その大きな豆腐のかたまりを大きな水槽の中に入れ、そっと、角がかけない様にやさしく水の中で30丁に切り分けて四角い豆腐のできあがりです。

その切り分けた四角い豆腐をそっと水を切って崩れないようにビニールの中に入れると「豆腐一丁上がり」となります。30丁の豆腐を午前中3回作る予定でしたが、三回目の出来上がりは午後になってしまいました。

※出来上がった豆腐は参加した人に持って帰ってもらったり、打ち合わせに残った人で試食したり、多くは一丁100円以上のカンパということで配りました。とても美味しく好評でした。

（久保和義）

### 【お詫びとお願い】

最初にこのワークショップのご案内を出した時、義援金を募りましたが、今まで集まったお金は、このワークショップの為の経費に使わせて頂きたいと思っております。勝手に変更して申し訳ありませんが、御了承下さいますようお願い致します。又、このイベントの為のカンパを募りたいと思っておりますので、ご協力下さる方は、8月末日までに「じゃがいものうち」まで届けて下さるか、下記口座までお振り込み下さい。

ゆうちょ銀行〔口座番号017703-93617〕 口座名義：じゃがいものうち

## 2015年度行事予定

### ■お楽しみ感謝祭

日時 8月26日（水）午前11時より  
場所 屋久島町役場尾之間支所4階ラウンジ  
参加希望の方は8月19日（水）までにお知らせください。  
連絡先 「じゃがいものうち」0997-47-3588

### ■口永良部島の皆様との「憩いの豆腐作りワークショップ」

日時 9月6日（日）  
午前9時より午後3時頃まで  
場所 麦生 ぽんたん館  
持ち物 長靴、エプロン、三角巾

## 2014年度第3回(3/26)第4回(5/12)理事会報告

第3回では、主に2014年度の活動報告と新製品(鹿みそ)開発についてと2015年度の活動計画案が話し合われました。

- ・タンカンが予定量確保できなかった。
- ・じゃがいものうちの製品は“商品”なのか？外装にそんなにこだわらなくていいのでは？(障がいのある人が貼ったシールがまがっていたら直したりしているのだから、障がいのある人が作っているのだから、どんなでもいいから買ってくれ、というお涙頂だいはいやだ。お金を取る以上ある程度の完成度は必要という意見と「じゃがいものうち」の活動資金なのだからその活動を理解した上で買ってもらえばいいのでは(外見は完璧でなくてもいい)という意見の対立。
- ・グループホームは2015年度は、屋久島町手をつなぐ育成会(親の方)が中心となった自主事業としてやり、2016年度からは「じゃがいものうち」の事業としてやりたい。
- ・「じゃがいものうち」の拠点建物の屋根を塗り替えたい。ベースは青で何か言葉を書く、全員それぞれの好きな言葉を書く？文を募集する？
- ・「みんなのうちに」の送迎車が1月に1台廃車になるのでどうするか？  
日本財団に申請を出す、社協にきく…(もらえる車があったら教えてください)
- ・おしゃべり玉手箱は平均参加者7名で、いい雰囲気で行われている。

第4回では総会資料の検討をしました。

- ・小学校との福祉交流は単なる作業体験になっているのでは？  
真の意味で“交流”になるためにはどうしたらいいのか。(いい知恵があったら、教えてください。)
- ・借入金の返済状況を資料に添える。
- ・「みんなのうちに」は誰が創っていくのか？  
「じゃがいものうち」の方針を理事会が決めスタッフその他関わってくれる人達に協力、助言してもらって創り上げる。そのためには、もっと理事会で「みんなのうちに」のことを話す必要がある。
- ・事務局にもう一人、週2回くらい雇えないか？  
今のところ黒字だが、自己資金を新しい事業開始のために貯めておきたい。就労B型になったら利用者さんの中で、できる人がいるかもしれないので今のままチェさんに頑張ってもらおう。

以上、簡単ですが、このような話をしました。理事の中だけではいい知恵が浮かばないことも多々あります。会員の皆様の知恵をお貸し願えれば「じゃがいものうち」の未来は、さらに、さらに明るいものになるでしょう！

---

## 2015年度 総会報告

(会員数 56名 参加者 14名 委任状 21名)

### 1. 2014年度の活動報告

- ・行事 産業祭(26人)、総会(10人)、交流バス遠足(おおぼら会7人、みんなのうちに11人、未来館12人、育成会7人)、温泉祭り(15人)、お楽しみ感謝祭(29人)  
もちつき(多数)、臨時総会(13人)

- ・おおぼら会 10月まで月1回、1月からおしゃべり玉手箱として（新形式）  
1月4回、2月から月2回
- ・みんなのおうち 利用者、介護保険3名、障害者生活介護4名、生活訓練4名
- ・安房小との福祉交流事業 じゃがいも植え付け、収穫、たんかんジュース作り  
視聴障害者との交流、6年生お別れ会食
- ・ホームページ更新 ブログアップ（脇田先生の尽力によって……ありがとうございました。）
- ・通信発行（12月、3月）

## 2. 2014年度会計報告

「みんなのおうち」はようやく少し黒字になりましたが、利用者の方が入院したり、やめたりすると途端に収入が減ってしまうので、まだ大変不安定な状態です。

「じゃがいものおうち」も活動計算書上は90万くらいの黒字になっていますが、モッチョムクリエイトと個人の方へ借金が返せていないので実質的には赤字です。

## 3. 2015年度活動計画

昨年度と同じ

他に就労継続支援B型（豆腐屋事業含む）開設へ向けての準備

グループホーム開設へ向けての準備（育成会と協力して）

鹿みその開発、鹿児島の新特産品コンクールへの出品

## 4. 2015年度予算案

昨年決算に基いて作成

新商品開発にかかる経費を計上した方がいいのでは、という意見が出ました。

以上、総会はどこおりなく終了し、そのあと残れる人は残っておいしいカレーを食べたあと、懇談会となりました。（ほとんどの方が）残って下さいました。

懇談会で出た話を以下に要約します。

- ・じゃがいものおうちの経営が不安定で心配
- ・会ができた頃の様子を聞きたい、と言う事で最初から関わってくださっている脇田由紀さんにお話をうかがいました。子供もたくさんいて、集まって何かするのがとにかく楽しかった。とのことでした。
- ・会員をふやすにはどうしたらいいのか？  
若い人をまきこむための工夫が必要（イベント、ネットの活用…）会の趣旨を書いたパンフレットがあった方がよい。それに会員募集をのせたらいいのでは？  
通信には常に載せているので。通信を活用する。（会員だけでなく知人に配る）
- ・尾之間にあるのだから区費を払った方がよい（後日さっそく問い合わせたところ、団体からは取っていないとの事でした。）
- ・看護師募集などは、まず全員にお知らせ協力してもらったらよかった、全員への諸々の周知が不十分、昔あった全員の連絡網がなくなったせいもあるのか？メール等活用し頻りに連絡した方がよい。

### <個人的感想>

去年より少し参加者は増えた、とは言え、まだまだ少ない感じがします。それでも、午後もたくさんの方が残ってくださり、色々な話のできたのはよかったです。欲を言えばもう少し話が深まり方向性が見える……………

来年はさらに多くの人の御参加を！！

（大垣千鶴）

## おしゃべり玉手箱へのお誘い

毎月第2、第4火曜日、午後1時半から行っています。会費は100円でこれはコーヒーお茶代です。茶菓子は各自持参です。

参加者は多いときは10名くらいになります。何を話すかは決まっておらず、その時集まった人達はその時話したいことを話しています。最近顔ぶれが決まってきていますので、新しい方の参加をお待ちしています。気軽に覗いてみて下さい。

## 新会員紹介(敬称略)

一般会員 久保和義 松山瑠美子 安藤亮 加藤朋子 伊藤美樹 山尾晴子  
賛助会員 加藤明乃 須佐俊子 稲見風子 吉田明夫  
団体賛助会員 榊田中彌

～よろしく～

## じゃがいものおうちのブログものぞいて下さい!

日々の活動や活動予定等、随時更新しています。右のQRコード、じゃがいものおうちホームページトップ画面からのリンク、アドレス<http://blog.canpan.info/jagaimo/>から見るができます。是非ご覧下さい。



## 感謝録 (H27.3～H27.7 敬称略・順不同)

いつもご支援、ご協力ありがとうございます。(じゃがいものおうち、みんなのおうち)

亀澤徳美 石我香織 松永勝志 鈴木由美 脇田武志・由紀 谷本正和 稲見風子 泉清治  
長瀬真弓 鎌田智彦 池上純久 小笠原勝弘 四宮澄江 芹沢政江 岩川美意子 井上正勝  
立花敬麗 松山瑠美子 小川裕子 しゃくなげ会 吉田明夫 渡辺一夫・まみよ トーン  
ペイタ 中井喜恵子 よろん坂 ジャングルキッチン近未来 メイビ 大垣佳恵 久保和義  
村本栄子 日高和子 仁科富子 安藤亮

## 編集後記

□今年の梅雨の雨、記録によれば50年ぶりの雨量だそうです。確かに尾之間温泉のお湯端会議でも地元の大先輩が「こんな年は珍しいわー」と言っていました。火山は噴火するわ、長雨は続くし、まったくろくな事はない!これからどうなるの?…。確かに我々の想像を超える自然現象出来事が、小心な心を揺さぶってくれています。備えあれば憂いなし!例えマイナスな事象も私達に与えられた課題と理解し、前向きな意識や行動に転じて、口永良部の方達と共に私達も逞しく元気でいきましょう。(楯)